

		中学1年 平成27年度重点目標																	
重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない	達成度 [4]75～100% (ほぼ達成した) [3]50～74% (まあまあ達成した) [2]25～49% (あまり達成できなかった) [1]0～24% (ほとんど達成できていない)	項目1	<目標>①「学力向上に向けて」 将来の進路実現に向けて、基礎学力の定着、向上を図る。 <計画> ・「わかば」を活用し、自宅での学習習慣(毎日1時間以上)を確立させる。 ・妻中タイム、CBT、Brain Exercise、各教科の小テストなどの学習において、個々の具体的な達成目標を定めることで、学力の定着と向上を図る。 ・大学入試の変化や自己の将来像を折にふれ、今何が必要なのかを考えさせる。																
		項目3	<目標>②「生きる力の育成に向けて」 ・「7つのルール」を身につけた学校生活を送る。 ・様々な人との関わりを通して、周囲との協調性を育む。 <計画> ・きちんとした挨拶や場に応じた言葉遣いができるように適宜指導する。 ・道徳やピアサポート、礼法などを通して、相手のことを考えながら行動できるように指導する。 ・様々な行事を体験することを通じ、みんなで同じ目標に向かい努力することを学ぶことで自主性や協調性を養う																
		項目5	<目標>③「学校教育環境整備と質向上に向けて」 「開かれた学校」を目指し、保護者への報公開を進めて、相互理解と連携を深める。 <計画> 学級通信、学年通信、進路ニュースなどを通して、保護者への情報発信に努め、相互理解と連携を深める。																
		項目1		項目3		項目5													
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度												
部署コード/平均		3.8	3.0	3.8	3.0	3.5	2.8												
62	1	3	3	3	3	3	3												
63	1	4	4	4	3	3	2												
64	1	4	3	4	3	3	3												
65	1	4	4	3	3	3	3												
66	1	4	3	4	3	4	#												
67	1	3	2	4	2	4	3												
68	1	4	3	4	3	3	2												
69	1	4	3	4	4	4	2												
70	1	4	2	4	3	3	3												
71	1	4	3	4	3	4	4												
72	1	4	3	4	3	4	3												
<取組状況、> 項目1「学力の向上」については、一学期末より妻中義塾を開設し呼びかけも行ってきたが、二学期は自主的な参加が多くなく、「学力推移調査」でもはかばかしい結果が現れなかった。三学期は毎朝SHRでの小テストを実施、低得点者には課題や義塾での強制学習を課し、基礎学力の向上を図っている。 項目2「生きる力の育成」については、入学当初は挨拶もあまりできない状態のスタートから、徐々に本校生徒らしい挨拶が出来る生徒になりつつある。登下校マナーは周囲に配慮が出来ない生徒がいたが、集会での注意や二学期より学年の教員見回りを行っている成果もあり、だいぶ改善をされてきている。 項目3「環境整備」については、保護者会や進路通信での新しい進路環境情報の提供などをつとめて行った。 タブレット導入に合わせて学習面での利用や自主的な学習力の向上をはかる。また、学年でも積極的に活用できるよう、町歩き取材などでの利用も検討したい。 宿泊行事が多く、学校外の方との接触も増えるので、相手を思いやった礼儀正しい行動が出来るように細やかな指導を心掛けたい。																			

中学2年 平成27年度重点目標										
重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない	達成度 [4]75~100% (ほぼ達成した) [3]50~74% (まあまあ達成した) [2]25~49% (あまり達成できなかった) [1]0~24% (ほとんど達成できていない)	項目1	<目標>①「学力向上に向けて」 将来の進路実現に向けて、基礎学力の向上を図り、意識向上のための工夫を行う。 <計画> ① 昨年度に引き続き主要科目の小テストを毎週実施し、日頃の積み重ねを意識させる。また、妻中義塾や補習を実施し、基礎学力を定着させる。 環境学習で新潟の自然、文化、生活などを体験し、地域の方との交流、街歩きでは地域の方から様々な職業について話を聞くことで、自分の将来について考える機会を設ける。そこから、より具体的な将来を想像し、学習意欲の向上を高める。							
		項目3	<目標> ②「生きる力育成に向けて」 「7つのルール」と「日常の五つの心」の実践に取り組み、社会人としての基礎を身に付けさせる。学校行事への積極的な参加を促し、自主性や協調性を養う。 <計画> ルールやマナーの重要性について日々の生活で指導し、一人ひとりがそれを行動できるようにする。 挨拶の励行と「日常の五つの心」を唱和することで、コタカ先生の教えを心掛け、実践できるようにする。 学校行事や部活動への参加を積極的に促し、様々な役目を通して、自ら進んで考え、行動し、相手を思いやる事が出来るように指導する。							
		項目5	<目標> ③「学校教育環境の整備と質向上に向けて」 教育環境を整え、ICTの活用を行う。 <計画> 清掃、教室の整頓を徹底させ、学習環境を整える。また、文化祭や環境学習の発表などにICTを積極的に活用する							
		項目7	<目標> ④「開かれた学校」 保護者への情報公開を進めて、相互理解と連携を深める。 <計画> 学年通信、学級通信、保護者会、進路ガイダンスなどを通して学年・クラスの様子を細目に報告する。							
		項目1	項目3	項目5	項目7					
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度	
部署コード/平均		4.0	3.3	4.1	3.1	3.7	2.9	3.6	3.1	
50	2	4	3	4	3	4	3	4	3	
51	2	4	2	4	2	3	2	#	#	
52	2	4	3	4	2	4	3	3	3	
53	2	4	4	5	4	5	4	4	4	
55	2	4	4	4	3	4	3	4	3	
56	2	4	3	4	4	4	3	4	3	
57	2	4	4	4	4	4	3	3	3	
58	2	4	4	4	3	#	#	#	#	
59	2	4	3	4	3	3	2	3	2	
60	2	4	3	4	3	2	2	3	3	
61	2	4	3	4	3	4	4	4	4	
<取組状況、次年度への課題など> 項目1に関して、特に2学期以降、補習や再テストなどを増やし、基礎力の向上を図った。次年度も引き続き基礎力の向上に努めたい。また妻中義塾については自主的な参加が少ないため、今後はさらなる動機づけや工夫を図りたい。 項目3に関して、本校の生徒としてルールやマナーを守ろうとする姿勢は見られる。状況に応じて「すみません」という言葉をもっと出せるようになって欲しい。フロンティアチームや各種幹部、部活の役職などを経験した生徒がとても積極的になってきた。その生徒を中心に、次年度は自主的に行動できる生徒を増やしていきたい。 項目5に関して、担任の指導のもと、どの教室も環境整備は達成出来ていた。しかし、文化祭等でのICT活用はあまり出来なかった。次年度は、平和学習を中心にタブレットなどの利用を図っていききたい。 項目7に関して、各担任がきめ細やかに生徒の様子を把握し、必要に応じて保護者との連携、連絡強化を行ってきた。また学年でも常に情報を共有できたので、次年度も引き続き情報共有を心掛ける。										

		中学3年 平成27年度重点目標													
		項目1		項目3				項目5							
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度								
		4.0	3.2	3.9	3.5	3.8	3.3								
重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない	達成度 [4]75～100% (ほぼ達成した) [3]50～74% (まあまあ達成した) [2]25～49% (あまり達成できなかった) [1]0～24% (ほとんど達成できていない)	項目1		項目3				項目5							
		<p><目標>①「学力向上にむけて」 ・グローバル社会を主体的に生きる人材の育成を目指して英語力の飛躍的向上をはかる。 グローバルリーダーを目指す生徒を育てる。 ・進路や人生設計についての目標をできるだけ具体的にイメージさせることによりモチベーションを上げ、全教科の学力向上を目指す。 <計画> ・フロンティアプロジェクトへの参加や平和教育を通して、グローバルな視点から物事を見る能力を育むとともに、英語を真剣に学び、(英語を使って)積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を育てる。 ・従来の学年の取り組みに加えて、主に妻中義塾(自主学習)の時間を利用して各成績層をターゲットにした英語の補習を行う。 ・中学最高学年として高校進学を間近に控え、自分の夢や希望を見据えて、大学の進路選択をすべき時期にあることを自覚させ、職場体験や、社会で活躍する人の話を聞く機会を設けることなどにより、自分の人生設計や進路を具体的にイメージさせる。そしてその実現をはかるために学力の到達目標を自ら定めさせ、学力向上の意欲を高める。</p>													
		<p><目標>②「生きる力の育成に向けて」 ・社会の一員として、自分がかけがえのない存在であることを自覚すると共に、所属するコミュニティにおける自己の役割、責任を果たし、他者から認められる人間を目指す。 ・自分に自信をもち、主体的に行動できる生徒を育成する。 <計画> ・道徳教育やキャリア教育に加え、機会あるごとに他者に対する思いやりの心をもち、協調と連帯の精神をもって行動するよう指導する。 ・学校や社会のあらゆる組織が、ひとりひとりの自制心とルールへの遵守を前提として成り立っていることを理解させ、通学時のマナー、校則の遵守、挨拶の励行など社会の一員としてあるべき行動をとるよう指導する。 ・多面的な経験や学びの機会を得るために、学校行事や部活動への積極的な参加を促す。</p>													
		<p><目標>③「学校教育環境整備と質向上に向けて」 開かれた学校の運営を実践するために、生徒、保護者、教師が必要な情報を共有し、相互理解を深め、連携して課題に取り組む。 <計画> ・学級通信、進路通信、学年通信など既存の媒体を活用した情報提供はもちろん、保護者への連絡・面談を通して三者が同じベクトルで課題に取り組めるよう努力する。 ・新校舎完成に伴って新たに導入された電子黒板の一層の有効活用を図る。</p>													
		部署コード／平均		4.0	3.2	3.9	3.5	3.8	3.3						
		39	3	4	4	4	3	4	4						
		40	3	4	2	4	3	3	3						
		41	3	4	4	4	3	4	3						
		42	3	4	3	3	3	4	4						
		43	3	4	3	4	4	4	3						
44	3	4	3	4	3	3	3								
45	3	4	3	4	4	4	3								
46	3	4	4	4	4	4	3								
47	3	4	3	4	4	4	3								
48	3	4	3	4	4	4	3								
49	3	4	3	4	4	4	4								
<p><取組状況、次年度への課題など> 項目1「学力の向上」については、グローバル社会への対応の一環としてフロンティアチームに9名が参加するなど積極的にグローバル活動に参加した。また、平和学習を通してグローバルな視点を養い他校とのコミュニケーションを図ることで、プレゼンテーション能力の向上につながった。また、英語力に伸び悩む生徒へ対しては、英語緊急対策講座を実施し、学力の底上げに努力した。中学1年次より実施してきた妻中義塾、朝テストを継続することにより、基礎学力の向上に一定の成果があったと考える。 項目2「生きる力の育成」については、本来生徒達がもっている活力を失わせることなく、挨拶の励行、各種ルールの遵守はもちろん、他者に対する思いやり、寛容さや連帯・強調を培うよう指導してきた。とくに学校行事や部活動への自主的・積極的な参加や職場体験など多面的な学びによって得たものが大きかったと考える。 項目3「環境整備」については、保護者会や進路通信などの媒体を活用し、極力保護者、生徒、学校の情報共有や進路に関する情報提供に努めた。また、中学3年担当教員としては、目標教育方針を共有し、従来の学校の枠組みを超えた取り組みを目指してきたことは特筆できると考える。 次年度への課題など 大学入試を3年後に控え、学力の飛躍的向上に向けて、いっそう自主性と集中力をもって学習する習慣化が肝要。 また、グローバル社会への対応として、ますます外国語の総合力、とりわけ「聞く」「話す」力を強化することが求められるため、その具体的施策を実行することが課題となる。</p>															

高校1年 平成27年度重点目標																	
重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない	達成度 [4]75~100% (ほぼ達成した) [3]50~74% (まあまあ達成した) [2]25~49% (あまり達成できなかった) [1]0~24% (ほとんど達成できていない)	項目1	<p><目標> ①「学力向上に向けて」 基礎学力の向上と毎日、学習する習慣を身につける。</p> <p><計画> 生徒各自の目標を設定すると同時に、学年全体で学力向上を目指す雰囲気確立する。 ・全員に配布した能率手帳に、予定・学習時間とその内容・提出物の管理などを記録させることで、学習計画や時間の自己管理ができるようにする。 ・文系(英・国・社)・理系(英・数・理)、それぞれの生徒にとって、主要3科目に対する意識を向上させ、早い段階から受験科目に関して意識づけるようにする。 ・常に、前向きな思考で物事が捉えられるように、得意科目や個々の生徒の強みを伸ばせるように指導する。</p>														
		項目3	<p><目標> ②「生きる力の育成に向けて」 メリハリのある生活習慣の確立。(自己管理能力の育成) 集団における自己責任能力の育成。 グローバル化を想定した将来設計像の構築。</p> <p><計画> 生活指導の基本である「7つのルール」を徹底する。 ・あいさつの徹底や時間管理について、1学期の始めまでに厳しく指導をする。 (授業開始のあいさつ、授業間の移動、体育の後の着替えによる開始時間の遅れも含む) ・「常に前向きな思考をもつこと」が3年後の進路決定や日常の生活習慣の確立に大きな影響をもたらすこと、「悲観的な発言をすること」は、生徒の成長過程においてマイナスの影響を与えることを理解させる。また、集団の中で思いやりのある行動がとれるように、そして、学年全体で向上することができるように指導する。 ・集団としての学力の向上・生徒のモチベーションをアップすることに関して、例を場面ごと具体的に生徒に示す ・国際社会で通用する人材の育成のため、放課後カリキュラムの充実を図り、キャリア実現のための講演会の参加を積極的に勧める。</p>														
		項目5	<p><目標> ③「学校教育環境の整備と質向上にむけて」 保護者対象の進路ガイダンスの充実。 保護者が学校生活の様子がわかるために可視化する。</p> <p><計画> 年3回の保護者ガイダンスを通して、本校の進路指導方針、及び現在の大学入試の在り方について具体的に提示する。 クラス間での指導の開きがないようにするために、保護者への連絡の内容が共有されたものか確認する。</p>														
		項目1	項目3	項目5													
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度										
		4.0	2.9	3.8	2.7	3.4	2.8										
部署コード	平均																
28	4	4	3	4	3	3	3										
29	4	4	3	4	3	3	3										
30	4	4	3	4	3	3	3										
31	4	4	2	4	2	3	2										
32	4	4	3	4	3	4	2										
33	4	4	3	3	3	3	3										
34	4	4	3	3	2	3	2										
35	4	4	3	4	3	3	4										
36	4	4	3	4	2	4	3										
37	4	4	3	4	3	4	3										
38	4	4	3	4	3	4	3										

<取組状況、次年度への課題など>
 項目1に関して、ポジティブ思考に関しては浸透してきたような気がするが、学習習慣の確立に関しては未だ達成されていない。生徒の将来を考えたとき、高校1年・2年生での学習習慣の確立は最も重要と考えているため次年度も引き続き指導していきたいと考えている。
 項目3に関して、メリハリのある生活習慣の確立に関しては、まだまだ達成されていない。生徒には8:20登校の妻中タイムの重要性に関しては、常に伝えているが、すべての生徒が理解し行動に移しているかといえば、未だ達成途中である。次年度に向けては本当の意味での生徒の自覚を促すような対策を模索していきたいと考えている。
 項目5に関して、今年度も進路指導方針に関して、保護者会などを通して具体的に提示してきましたが、次年度はさらに進路ガイダンスを充実し、生徒・保護者が安心して大学受験に向かっていけるように努力していきたい。

高校2年 平成27年度重点目標																																																																																																																																																																																																																																																																																															
重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない	達成度 [4]75~100% (ほぼ達成した) [3]50~74% (まあまあ達成した) [2]25~49% (あまり達成できなかった) [1]0~24% (ほとんど達成できていない)	項目1	<目標>①「学力向上にむけて」 学校の中心学年としての自覚を持ち、学校行事、生徒会活動、部活動においてリーダーシップを発揮する。 <計画> 生徒の自主性を尊重し、自発的な活動ができるようにバックアップしていく。学業との両立ができるように支援する。																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		項目3	<目標>②「生きる力育成に向けて」 ・生活指導の基本である7つのルールを徹底する。 ・自分の目標達成を持ち、それを達成するための行動力を持つ。 ・学習時間の確保・基礎学力の向上 ・生活習慣を確立 ・自ら課題を見つけ、自分で解決していく力を持つ。 <計画> ・授業や個人面談などを通じて、進路目標を持てるような指導をしていく。 ・自発的学習に向かう環境作り、放課後学習、毎日の学習時間や内容、提出物の管理などを記録。 ・妻中タイム、補習、講習の充実を図る。 ・学年内で生徒の生活面や学習面に課題がある生徒を共有し、今後の指導に活かす。 ・総合学習の充実 ・プレゼンテーション能力を養う。																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		項目5	<目標>③「学校教育環境の整備と質向上にむけて」 保護者対象の進路ガイダンスの充実 <計画> ・大学入試情報や学年の進路指導状況、模試の結果などについて保護者に伝えていく。																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目1</th> <th colspan="2">項目3</th> <th colspan="2">項目5</th> <th colspan="2"></th> <th colspan="2"></th> <th colspan="2"></th> <th colspan="2"></th> <th colspan="2"></th> <th colspan="2"></th> </tr> <tr> <th>重要度</th> <th>達成度</th> <th>重要度</th> <th>達成度</th> <th>重要度</th> <th>達成度</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>部署コード／平均</td> <td>3.9</td> <td>3.2</td> <td>3.9</td> <td>2.8</td> <td>3.8</td> <td>3.4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr><td>16</td><td>5</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>17</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>4</td><td>2</td><td>4</td><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>18</td><td>5</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>19</td><td>5</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>3</td><td>4</td><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>20</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>4</td><td>2</td><td>4</td><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>21</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>4</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>22</td><td>5</td><td>4</td><td>2</td><td>4</td><td>3</td><td>4</td><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>23</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>4</td><td>3</td><td>4</td><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>24</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>4</td><td>3</td><td>4</td><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>25</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>4</td><td>3</td><td>4</td><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>26</td><td>5</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>3</td><td>4</td><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>27</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>4</td><td>3</td><td>4</td><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>																		項目1		項目3		項目5														重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度													部署コード／平均	3.9	3.2	3.9	2.8	3.8	3.4												16	5	4	4	4	3	3	3											17	5	4	3	4	2	4	3											18	5	3	3	3	3	3	3											19	5	4	4	4	3	4	3											20	5	4	3	4	2	4	4											21	5	4	3	4	3	3	3											22	5	4	2	4	3	4	4											23	5	4	3	4	3	4	4											24	5	4	3	4	3	4	3											25	5	4	3	4	3	4	3											26	5	4	4	4	3	4	4											27	5	4	3	4	3	4	4								
項目1		項目3		項目5																																																																																																																																																																																																																																																																																											
重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度																																																																																																																																																																																																																																																																																										
部署コード／平均	3.9	3.2	3.9	2.8	3.8	3.4																																																																																																																																																																																																																																																																																									
16	5	4	4	4	3	3	3																																																																																																																																																																																																																																																																																								
17	5	4	3	4	2	4	3																																																																																																																																																																																																																																																																																								
18	5	3	3	3	3	3	3																																																																																																																																																																																																																																																																																								
19	5	4	4	4	3	4	3																																																																																																																																																																																																																																																																																								
20	5	4	3	4	2	4	4																																																																																																																																																																																																																																																																																								
21	5	4	3	4	3	3	3																																																																																																																																																																																																																																																																																								
22	5	4	2	4	3	4	4																																																																																																																																																																																																																																																																																								
23	5	4	3	4	3	4	4																																																																																																																																																																																																																																																																																								
24	5	4	3	4	3	4	3																																																																																																																																																																																																																																																																																								
25	5	4	3	4	3	4	3																																																																																																																																																																																																																																																																																								
26	5	4	4	4	3	4	4																																																																																																																																																																																																																																																																																								
27	5	4	3	4	3	4	4																																																																																																																																																																																																																																																																																								
<取組状況、次年度への課題など> 生徒が各自の進路目標を明確し、自発的に受験に向かっていけるよう、進路カルテを継続利用していき、生徒が最大限の力を発揮できるように学年では個別の進路指導、延長学習などの学習環境を引き続き整えていく。また、生徒が入試に関する最新の情報を得られるよう、進路ガイダンスを実施し、進路指導通信(2年次では「おかげさま」を学年進路担当で発行)を月2回以上発行していく。 生活面では生活と学習の規則的なリズムをつくっていけるよう、学年全体、クラス単位、個人指導をしていく。																																																																																																																																																																																																																																																																																															

		高校3年 平成27年度重点目標															
重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない	達成度 [4]75～100% (ほぼ達成した) [3]50～74% (まあまあ達成した) [2]25～49% (あまり達成できなかった) [1]0～24% (ほとんど達成できていない)	項目1	<p><目標> ①「学力向上に向けて」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一志望校へのこだわりを生徒に強く意識させ、生徒が最大限学力を向上させるための環境を整える。 ・生徒一人ひとりの進路を実現するために、個別の進路指導や学習指導を充実させる。 ・年々変化する大学入試制度の最新情報や動向に関する情報を一早く入手し、生徒達に有利になる情報を進路ガイダンスや個別面談で適宜伝える。 <p><計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度より導入した進路カルテを継続活用して、HR担任による個別面談を、春、夏、秋、センター直後の4回以上を実施し、進路実現に向けた情報提供やメンタルサポートを行う。 ・昨年度に引き続き、放課後延長学習を4月より1年間実施する。 ・全体向けの進路ガイダンスを年6回実施するのに加えて、入試形態ごとの進路ガイダンスを実施する。 ・長期休業講習や平常講習などで、個別の大学対策講座を充実させる。 ・大学入試研究会や大学説明会に学年団の教員が手分けして参加し、最新入試情報を学年会で共有する。 														
		項目3	<p><目標> ②「生きる力育成に向けて」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最高学年として他学年のロールモデルとなれるよう、7つのルールを徹底する。 ・受験のストレスから自己中心的な考え方にならないよう、クラスの仲間同士が励まし合える授業環境や人間関係をつくる。 <p><計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な学校生活習慣を送り、生活リズムや学習リズムを崩さないことが進路実現につながることをHRや学年集会で強く呼びかけ、欠席・遅刻・早退者の数が増えないようにする。 ・学校行事に積極的に参加させることで学校生活にメリハリをつけ、クラスの仲間との絆をつくる。 														
		項目5	<p><目標> ③「学校教育環境の整備と質向上に向けて」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「開かれた学校」を目指し、大学入試情報や学年進路指導などについてきめ細かく保護者に発信し、相互理解と連携を深める。 <p><計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ・月2回以上「学年通信」または「学年進路部通信」を発行し、紙ベースで生徒に配布するのに加えて学校HPIにも掲載する。 														
		項目1	項目3	項目5													
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度										
部署コード／平均		4.0	3.8	3.9	3.2	3.6	3.5										
5	6	4	4	4	3	4	4										
7	6	3	3	3	3	3	3										
8	6	4	3	4	3	3	4										
9	6	4	4	4	3	3	2										
10	6	4	4	4	3	4	4										
11	6	4	4	4	4	4	4										
12	6	4	4	4	3	4	3										
13	6	5	5	4	4	4	5										
14	6	4	4	4	3	3	3										
15	6	4	3	4	3	4	3										

<取組状況、次年度への課題など>

項目1「学力向上に向けて」は、重要度4.0に対して達成度3.8と高い数値となった。「生徒一人ひとりの第一志望校合格」を学年目標に、10名の学年教員団が全力で授業・講習・個人指導をしてきたことによる数字といえる。春・夏・冬の長期休業中は他学年の先生方にも受験対策講座を開講してもらい、質・量ともに講習を充実させることができた。その結果、生徒が教員を信頼して、学校を中心に受験勉強を進める生徒が例年以上に多かった。学校全体で高3生の受験サポートをしていく体制は、来年度以降さらに充実させていく必要がある。

項目2「生きる力育成に向けて」は、「進路実現のためにも学校生活をきちんと送る」を学年目標に、強く生徒達に訴え、生活・学習リズムが崩れないよう注意を払ってきた。体育祭や文化祭などの学校行事は、学年全員参加を貫き、クラスや学年が一つになって取り組むことができた。2学期後半は受験勉強の疲れからか、20分遅刻は増えたものの、正規の遅刻や欠席の数は最小限に抑えられた。

項目3「学校教育環境の整備と質向上に向けて」は、学年通信は月2回、学年進路部通信は50号超えの発行を達成し、プリント配布とHP掲載を行うことで、学年の様子や進路情報を保護者にきめ細かく伝えることに努めた。